

世界遺産のつながりでも協力 熊本県天草市に義援金を贈呈

7月9日、青木町長が熊本県天草市役所を訪れ、熊本地震の復興義援金(83,300円)を天草市の中村五木市長に贈呈しました。この義援金は道の駅平泉に設置した義援金箱に寄せられたもので、同施設内で天草宝島物産公社を通じて天草産の柑橘類を販売していることから、今回の贈呈となりました。

中村市長は『天草の崎津集落』の世界遺産登録が6月に決まり、お互いのつながりも深まった。今後も協力していきましょうと話していました。



PRに向けたアイデアを提言 「おくのほそ道の風景地ネットワーク」講演会

6月21日、「おくのほそ道の風景地ネットワーク」の第5回総会に合わせて、平泉文化遺産センターで講演会が行われました。

講演会では文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官の平澤毅さんが「名勝地の保護とおくのほそ道の風景地」と題して講演。平澤さんは「名勝地のある近隣市町が連携し、共同事業を行う」などPRに向けたアイデアを提言し、同風景地を後世へ継承していく重要性について話していました。



平泉の夏の夜を盛り上げる ひらいずみ夜祭り・商工会よ市

7月14日、観自在王院跡において「ひらいずみ夜祭り」「商工会よ市」が行われ、フラダンスや町内のよさこい団体による演舞、ふるさと踊りなどが披露され、会場は大勢の人でにぎわいました。

今年のふるさと踊りには町地域婦人団体協議会や神輿の担ぎ手ら総勢約250人が参加。全員で輪となり「平泉音頭」「東北音頭」「美菜の平泉音頭」の曲に合わせて華麗に踊り、会場は大いに盛り上がりました。



世界平和や復興を祈る 平泉世界遺産の日に「平和の祈り」

6月29日、県が定める「平泉世界遺産の日」に合わせて、観自在王院跡で「平和の祈り」が開催され、町内外から約400人が参列しました。町内7カ寺の僧侶14人が法要を営み、世界平和の実現と東日本大震災からの復興を祈りました。女声合唱団「コール・ファンタジー」と平泉、長島両小学校5、6年生がそれぞれ合唱を披露。平泉ユネスコ協会文化財愛護少年団に所属する6人が世界平和へのメッセージを朗読し、素晴らしい平泉の文化や思想を多くの人に広めていくことを誓いました。

吹奏楽コンクール県大会に出場 平泉中学校吹奏楽部

平泉中学校吹奏楽部が、7月7日に一関文化センターで行われた「平成30年度全日本吹奏楽コンクール岩手県南地区大会」で金賞を受賞し、見事県大会出場を決めました。部長の千條聖矢さん(3年生)は「自分たちの音楽に向き合い、この仲間と演奏できることに感謝しながら、一音一心で演奏したいです」と県大会への意気込みを話していました。

吹奏楽部が出場する県大会は、8月6日に盛岡市の岩手県民会館で開催されます。



犯罪や非行のない社会を目指して 社会を明るくする運動

法務省主唱の第68回社会を明るくする運動強化月間に合わせ、同運動町推進委員会の委員が、7月2日にJR平泉駅前においてセレモニーを開催。その後、駅前や各小中学校で街頭広報活動を行い、犯罪や非行の防止、犯罪者の立ち直りを地域で支えていくことへの理解と協力を呼び掛けました。

また、7月9日、17日、23日には、小中学校で朝のあいさつ運動を実施し、先生や生徒も積極的に参加して元気に声を掛け合いながら気持ち良く一日をスタートしていました。



若い世代の感性を町政に反映 第1回若者会議

7月18日、町役場で第1回若者会議を開催しました。この会議は、町が行う事業や地域振興策について、若い世代と意見を交わす場として、新たに設けたものです。委員は26~44歳の男女9人で構成され、職業もさまざま。会議では、9人の委員の自己紹介が行われ、独身者や子育て世代が平泉に求めているものについて懇談しました。

委員は今後2年間、若い世代の感性やアイデアを出し合いながら、魅力あるまちづくりを盛り上げていきます。



自衛官募集相談員に委嘱状を交付 同相談員に眞籠さんと高橋さん

7月3日、任期満了に伴い自衛官募集相談員の委嘱状交付式が役場で行われ、眞籠信巳さん(15区)と高橋誠さん(4区)の2人が再任されました。

同相談員は、平成32年4月30日までの2年間の任期中、自衛官志願者の紹介や地元の若者に入隊を呼び掛ける活動などに引き続き取り組みます。この活動は防衛基盤の育成にも貢献する重要な役割を担っており、県内においては、現在約200人が同相談員として活動しています。